



# ヒヤリハット事例 で学ぶ 事故防止

---

～小さな異常に気づく力が  
重大事故を防ぐ～

# 学習目標

---

- ・ ヒヤリハット事例を通じて事故の芽を理解する
- ・ 事故につながる危険要因を把握する
- ・ 日常業務で実践できる再発防止策を学ぶ





ヒヤリハットとは？

---

# 「事故には至らなかったが、事故になってもおかしくなかった事象」

---

1件の『**重大事故**』の背後には、29件の『**軽微な事故**』と300件の『**ヒヤリハット**』が存在すると言われています。



# 事例で学ぶ

そうならないためには？

# 事例① 給油中の車両発進

## 発生状況

給油中に運転者が給油終了と勘違いし車両を発進。給油ホースが引っ張られ、ノズルが離脱しました。

## ヒヤリポイント

- ホース損傷
- 危険物漏えい
- 火災発生の危険

## 防止策

- ✓ 給油中表示の活用
- ✓ 給油完了まで運転席に戻らない
- ✓ 給油監視の徹底

# 事例② ローリー荷卸し時の閉止弁操作ミス

## 発生状況

荷卸し中に誤った弁を開放し、危険物が別タンクへ流入。

## ヒヤリポイント

- コンタミネーション(混油)
- 品質不良
- 大量漏えい事故

## 原因

- 思い込み作業
- 指差呼称不足
- 配管確認不足

## 防止策

- ✓ 配管系統の事前確認
- ✓ 指差呼称の実施
- ✓ ダブルチェック

# 事例③ 静電気による着火危険

## 発生状況

ドラム缶へ危険物を小分け中、アース接続を忘れた。着火には至らなかったが静電気放電を確認。

## ヒヤリポイント

- 蒸気への着火
- 火災・爆発

## 防止策

- ✓ 作業前点検
- ✓ アース接続確認
- ✓ 静電気除去設備の維持管理

# 事例④ 点検時のポンプ空運転

## 発生状況

点検後にバルブ開放を忘れたまま起動。ポンプが異常発熱した。

## ヒヤリポイント

- 設備損傷
- 漏えい事故
- 火災発生

## 防止策

- ✓ 復旧手順書の活用
- ✓ 運転前チェックリスト
- ✓ 複数人による確認

# 事例⑤ タンク液位確認不足

## 発生状況

受入時に液位確認を怠り、タンク満量に接近。溢流寸前で発見。

## ヒヤリポイント

- 危険物漏えい
- 土壌汚染
- 周辺環境への影響

## 防止策

- ✓ 高液位警報の確認
- ✓ 受入前後の液位測定
- ✓ 作業中の継続監視

## 人的要因

- 思い込み
- 慣れ
- 確認不足

## 設備要因

- 老朽化
- 点検不備
- 故障の見逃し

## 管理要因

- 手順逸脱
- 情報共有不足
- 教育不足

ヒヤリハットから  
見える**共通原因**

---



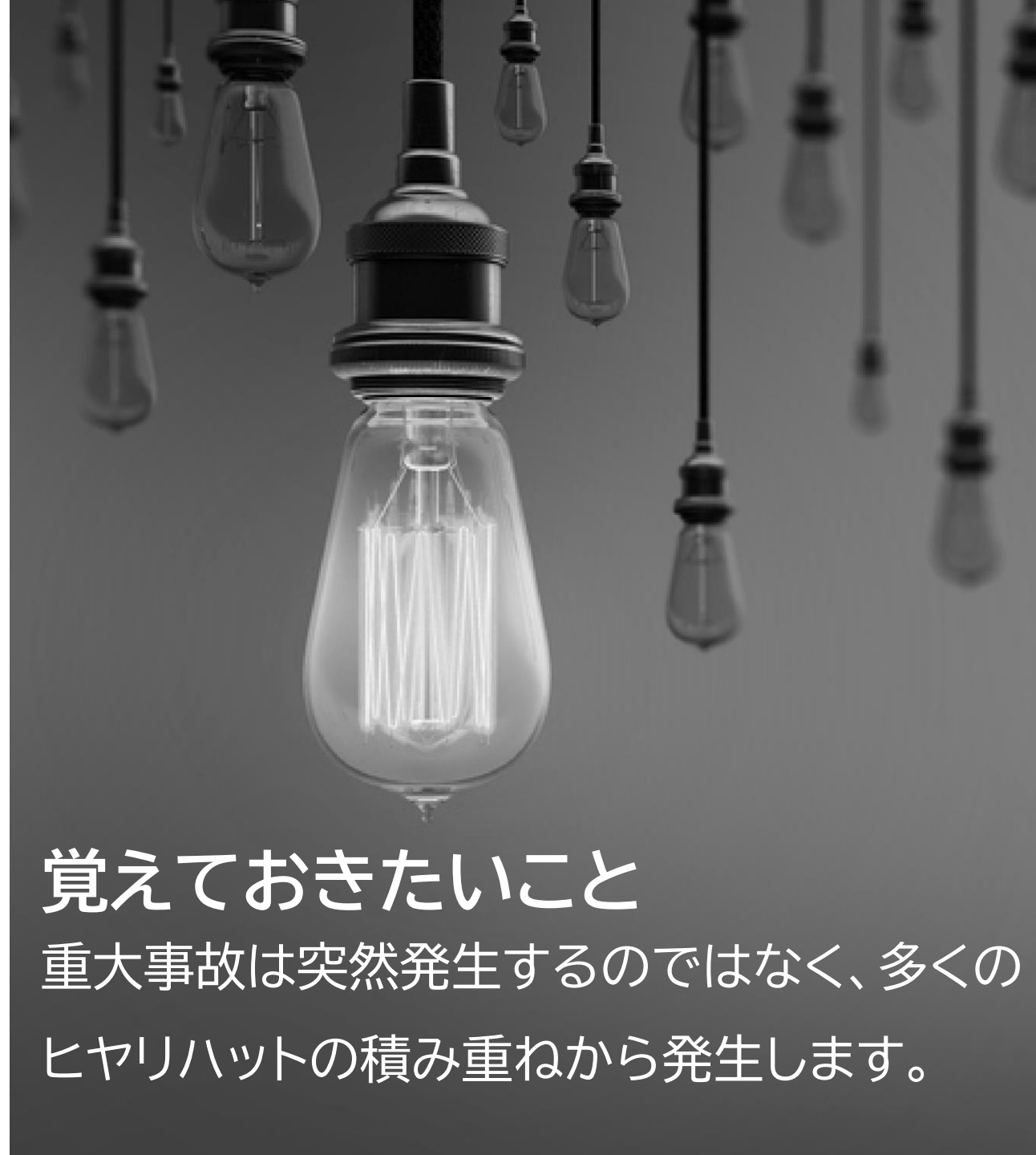
# 今日からできる 事故防止

---

- 指差呼称を徹底する
- 異常をそのままにしない
- ヒヤリハットを報告する
- 「いつも通り」を疑う
- 手順書を確認する

## 覚えておきたいこと

重大事故は突然発生するのではなく、多くのヒヤリハットの積み重ねから発生します。



# まとめ

---

- ✓ ヒヤリハットは重大事故の予兆
- ✓ 多くは思い込みや確認不足が原因
- ✓ 気づき・報告・改善の積み重ねが事故防止につながる

「ヒヤリ」を共有し、「事故ゼロ」を実現しましょう。